

平成18年度 新市建設計画・総合計画の 実施状況と合併効果を紹介します！

本市のまちづくりは、合併による経費の削減や国や東京都からの財政支援を効果的に活用し、新市建設計画・総合計画に基づきまちづくりを計画的に進めています。今号では、その内容について紹介します。

◆企画政策課 田 田 (☎460-9800)

■ 新市建設計画・総合計画の実施状況

新市建設計画は、平成13～22年度の10か年を計画期間とするもので、平成18年度末で6年が経過しました。

新市建設計画に位置づけられた53事業のうち、平成18年度末までに46事業について実施、または一部着手し、平成18年度の決算額は約58億円でした。

また、平成16年度にスタートした本市初の総合計画は、平成16～25年度を計画期間として、新市建設計画事業を含むとともに新たな市民ニーズを取り入れて策定された計画で、平成18年度の決算額は約92億円でした。なお、平成18年度における総合計画事業の主な実施状況は、下図のとおりです。

■ 合併による削減効果は約19億5,800万円

本市は、「合併を究極の行財政改革」と位置づけ、積極的な経費の削減に取り組んでいます。一般職・特別職のPerson費、市議会議員報酬、消防事務事業等による平成18年度の削減効果は約19億5,800万円です。

■ 合併による財政支援の状況

平成18年度は、普通交付税の合併算定替(※)による影響額として約14億円、合併特例債の活用として約31億円などがあります(※合併後10か年度は、合併がなかったと仮定して毎年算定した普通交付税の額が保障されること)。

① 保育園の民営化の実施

みどり保育園の運営を社会福祉法人に委託しました。
(1億5,849万円)

② 田無保育園の建て替え



(2億8,702万円)

③ (仮称) こどもの総合支援センター等建設事業

住吉福祉会館の建て替えに伴い、平成20年度のオープンを目指し、(仮称) こどもの総合支援センター・(仮称) 老人福祉センター・(仮称) 女性センターの3つの機能をもつ複合施設を整備しています。
(2億4,894万円)

④ 青嵐中学校校舎等建て替え事業



校舎等の建て替え工事が完了しました。
(27億1,951万円)

⑤ 小学校校舎等大規模改造事業

田無小学校、芝久保小学校
(1億4,486万円)

⑥ 中学校校舎等耐震補強事業

田無第四中学校
(2,310万円)

■ 在宅介護支援センター・地域包括支援センターの連携

市内8か所に地域包括支援センターを整備しました。
(1億2,499万円)

⑦ 保谷障害者福祉センターの改修

(2,064万円)

⑨ エコプラザ西東京の建設

平成20年度の開館を目指し、建設工事に着手しました。
(1億518万円)

■ コミュニティバス「はなバス」の運行



さらなる利便性の向上を図るため、フォローアップ調査を実施しました。
(1億3,839万円)

■ 雨水溢水対策工事

大雨による浸水緩和のため、北原町一丁目地内、住吉町三丁目地内で対策工事等を行いました。
(2億6,959万円)

供 ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進

ひばりヶ丘駅周辺の総合的なまちづくりを進めるため、まちづくり事業用地の取得とともに、都市計画道路3・4・21号線の用地測量等を行いました。
(5億1,933万円)

供 保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業(特別会計への繰出金)

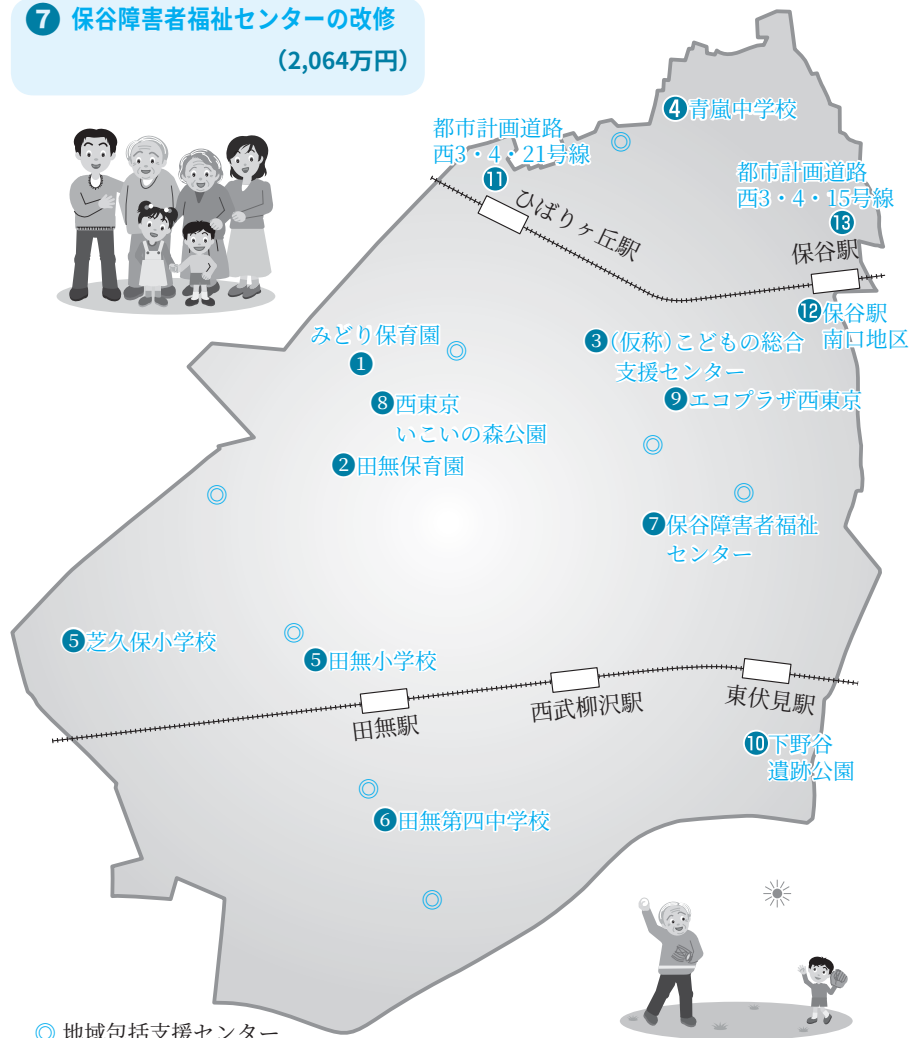
建物除去工事・施設建築物築造工事に着手しました。
(6億2,000万円)

供 都市計画道路の整備(西3・4・15号線)

用地買収、道路築造工事等を行いました。
(1億8,761万円)

■ 地域情報化の推進

機器等の調達や運用方法の見直しを行い、効率的かつ安全なIT環境を実現するための最適化計画の作成に取り組みました。
(5億3,332万円)



○ 地域包括支援センター

⑧ 西東京いこいの森公園の維持管理



(2,211万円)

京 下野谷遺跡公園の整備



今年4月15日にオープンしました。
(5,622万円)